

WEEKLY BULLETIN

静岡北ロータリークラブ SHIZUOKA NORTH ROTARY CLUB

よいことの
ために
手を取りあおう



会長 吐前 敏孝
副会長 北上 純生
幹事 吉田 空玄
副幹事 赤石 光裕

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30 例会場：ホテルアソシア静岡 TEL.054-254-4141
事務所：〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F
TEL.054-254-5611 FAX.054-221-0515
◆http://shizuoka-north-rc.jp/ ◆E-mail: shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp

2025-26年度 RI会長 フランチェスコ・アレツツオ / UNITE FOR GOOD

2025年10月21日 [火] 第1589回例会 天候：

司会進行

吉田 空玄幹事

開会点鐘

吐前 敏孝会長

ロータリーソング

奥村 聰会員

「我等の生業」

ビジター紹介

石垣 徳夫会員

米山奨学生
ゲスト
米山学友会

フィン・フー・ヒエン・ニヤン様
金 相均様 (静岡RC)

出席報告

石垣 徳夫会員

月 日	会員数	出席数	欠席数	メークアップ	改正出席率
9/30	28(26)	14名	12名	0名	53.84%
10/7	28(27)	13名	14名	—	—
10/21	28(26)	16名	10名	—	—

● 本日の例会案内

(第1590回例会)

10月28日(火) 日本平RC・静岡北RC合同例会

● 次回のプログラム

11月4日(火) 休例会

幹事報告

吉田 空玄幹事

・次週は、日本平RC・静岡北RC合同例会です。
・静岡西RC創立50周年記念式典のご案内。

会長挨拶

吐前 敏孝会長

皆さんこんにちは。

本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

今日も米山奨学生のニヤンさんようこそ。そして本日は米山学友会幹事の金 相均 (キム サンギュン) さんようこそ！ファン ヨンハムニダ！後ほど卓話をよろしくお願ひします。

さて、この一週間は、大谷翔平選手の歴史的な快挙のニュースと、日本の政局がどうなるのかという報道でもちきりでした。そして、今日は内閣総理大臣指名選挙の日ということで、新たな政権がスタートする日になりそうです。

始まりといえば、始まりの合図や呼び方もいろいろですね。

スポーツの世界では、野球は【プレー・ボール】、サッカー、ラグビー、アメフトなどは【キックオフ】。この辺は馴染みある言葉になってきています。テニスは【プレイ】、バスケは【ティップオフ】らしいですね。

今日は始まりの合図にちなんで、いつも鳴らしている「点鐘」の話をしたいと思います。

私たちが毎回の例会で行っている始まりの合図は鐘を打つ「点鐘」ですが、会の始まりと終わりに鳴らす、この「点鐘」について、そのルーツを調べてみました。もともとは、船の鐘…「シップベル」が起源だそうです。

19世紀の航海時代、航海の開始や船員の交代時にならず「シップベル」がルーツとなったようで、「人生



の航海のように、規律と節度をもって始まり、終える」という象徴の意味を込めて、1920年代初めに、アメリカのシアトル・ロータリークラブが「例会の始まりと終わりを告げる合図」として鐘を鳴らしたのが始まりだそうです。

シアトルは船の町、港町であったことから、シップベルを例会の始まりと終わりに使うようになりました。やがてそのことが評判を呼び、ロータリー全体に広がっていき、国際ロータリーの習慣となり、今では世界中のクラブで点鐘が行われています。

現在はその点鐘に、次のような意味を込めているとのことです。まず「開会の点鐘」は、会合の正式な開始、心をひとつにして奉仕の精神に入る合図。私たちの心を日常から切り替え、「奉仕と友情の時間」が始まるなどを知らせる合図。

そして「閉会の点鐘」は、今日の出会いと語らいに感謝し、次の奉仕へと歩み出す区切りの合図。

私も会長となって初めて鳴らすようになり、これまであまり意味も考えず打ってましたが、今回少し勉強し、今日は思いを込めて鳴らしました。いつもより良い響きに聞きました

今日も、鐘の音とともに、皆さんと集い、心を整え、最後まで奉仕と友情が深まる例会にしていきたいと思っています。

以上、ありがとうございました。

おめでとう

誕生日／11月2日

望月由紀江会員

メモリアルデー

結婚記念日／11月3日

西丸 聰司・かおりさん

11月3日

白旗 保則・畠津子さん

創業記念日／11月1日

森崎 和敏会員

スマイル

■吐前 敏孝会長 ■吉田 空玄幹事

■鈴木 勉会員

本日は、米山学友会幹事のキム・サンギュン様の卓話を楽しみにしております。クラブ皆で歓迎しております。

■奥村 聰会員

今日の卓話を楽しみにしています。金 相均さん久し振りに会えて嬉しいです。

■岸 好子会員

ニヤンさんお誕生日おめでとうございました。健康に気を付けて日々楽しく勉強してください。

■西丸 聰司会員

先日、サッカー日本代表がブラジルに勝利した、歴史的ゲームを観戦して参りました。改めてスポーツが日本を元気にすることに感激した次第です。来年はワールドカップ応援しましょう！

ゲスト卓話

自己紹介プレゼンテーション
～私の歩みと未来へのビジョン～

米山学友会
金 相均様(静岡RC)



自己紹介

氏名: 金 相均 (きむ さんぎゅん)

出身地: 韓国 ソウル

年齢: 42歳

居住地: 静岡県清水区三保

家族構成:

妻 (42歳、日本人)、
長女 (9歳、小学3年生)、次女 (3歳、年少)

前職: 静岡銀行、中国建設銀行 東京支店



趣味
ゴルフ
釣り
スノーボード

人生の転機：兵役中の出来事

兵役中の知らせ

兵役中に母親から再婚の連絡を受ける

感情の揺れ

突然の知らせに戸惑いながらも、母親の幸せを願う

人生の転機

この出来事が、私の人生における大きな転機の始まりとなった



時に人生は予期せぬ方向へ進み、新たな可能性を開く扉となる

人生の転機：義父からの誘い

新しい家族との出会い

新しい義父との出会いが、私の人生における重要な転機となりました。

義父の仕事

義父は日本で造園業を営んでおり、伝統的な日本庭園の造成・管理に携わっていました。

後継者としての誘い

「後継者として日本に来ないか」という義父からの声かけが、私の人生の方向性を大きく変えることになりました。



日本での新たなスタート

来日の決断

義父の説得を受け、新しい環境で新たな人生を歩む決意をしました。

日本語学校

言語の壁を乗り越えるため、日本語学校に通いながら言語と文化を学びました。

造園業の手伝い

義父の造園業を手伝いながら、日本の仕事に対する姿勢や職人精神を学びました。

文化と労働環境の理解

日本の職場文化や労働環境を深く理解するきっかけとなり、将来のキャリアの基盤を築きました。

- 1 未日
- 2 日本語学習
- 3 造園業での経験
- 4 日本文化の深い理解

閉会点鐘

吐前 敏孝会長
[担当: 大橋(利)]